

広報のひろば

市の人口

(7月末現在)

総人口	51,513 (106増)
男	25,753 (57増)
女	25,760 (49増)
世帯数	15,181 (-29増)

()内は前月との増減

レッツゴー「市民まつり」

市民団体による集会で決議 拍手の中で実行委員も決まる

去る六月の市議会にて田村市長が、私たちの住むこの登別市をいかに良くするか。そして、住みよい登別、住みたくなる登別市にしようか。といういろいろな施策を織り込んだ諸行政の中で、「地域間の市民の連帯感と人の和をさらに深めるため」の一環として、市民まつりを実施しようと呼びかけ議会の賛同を得ています。

この市民まつりは、市民の手で企画し、市長の手で実施しようとして八月十七日、市長が市内各層六十五団体に呼びかけ、参集をおねが

いしたところ、多数の市民代表が中央公民館に次々とあつまり、建設的な討論を重ね、市民まつり、を執行することに決めました。

この話し合いの中で、早速実行委員を選びましたが、漁業、商業、青年、婦人層など三十六団体によって構成された実行委員会が、どのように市民まつり、を盛り上げるのか、今から楽しみます。

今回は、この市民まつりにスポットをあててみました。

心のかよい合う連帯感を

古くから部落毎、地域別に地縁のおまつりがあったし、わが登別にもいくつもの祭典があり、今も続いています。

また、一方では町、市をあげて住民が結集する、市民まつりが近年になって、各都市で盛大に催されていますが、わが登別市にも人々の心がかよい合う「全市民的まつり」の心が、市民の間から出ていました。

田村市長は、参集した市民団体の前であいさつし、「最近のますます都市化現象が進む中で核家族化の傾向をたどり、親子の断絶とか、隣りの人はなににする人ぞと言われるこのような世相ですが、私たち市民が全体感をもつ行事、心がかよい合う連帯感を高める催し物が必要であると思います。

登別は百十年の歴史を経ていますが、誰かが、いつかの時期にこの市民の連帯感を高める催し物をやらねばならない訳ですので、今

気運の高まるこの時期に、みんなでお力を出し合い、協力し合って市民まつりを実行してはどうか。そして、回を重ねる毎に、良いものにしてほしい。」とのべました。

どんな催しを…
いつやるのか…

参集した市民の方々から、質問や意見が続々と出されました。質疑応答の内容を要約してみよう。

「我々のまつりに対する市の予算はどうなっているか」
初めてのことで、今年は一百万円です。年々催し物を盛り上げるよう工夫されていくと、予算も増額していくことになるでしょう。

「まつりの期間はどの位…」
みんなで決めていただきますが、今年はその時期的な事情もあり、素案では一日間としています。最終的には、実行委員会でも決めてもらいます。



「計画的な行事で趣旨は大賛成ですが、企画の段階から市民ぐるみでやるべきではないか。」
そのつもりですので、みなさんにお集まりいただきました。素案にとらわれずに審議してください。「大ぜい集まっているが、この中で意見を集約し、実行委員会に移してはどうか。」

そのとおり、実行委員会へ引き継ぎたいと思います。

「とり合えず、どんな催しものにするか素案を示してほしい。」
どこまでも素案ですが、緑日広場の開設、登別ふるさとおどり、チビッ子フェスティバル、ミス登別コンテストなどいろいろと計画いたしました。

(なお、市民まつりの行事は、この素案にとられず、実行委員会でも新たに決まります。)

「まつりの催し物について、市民からアイデアを公募してはどうか。」
良いご意見ですので、実行委員会の方へその通り伝えます。

「実行委員は、広く各地区から人選すべきだ。」
現在のところ、民間三十六団体を予定しています。ご審議ください。

実行委員となった団体名

- 鉄南、鉄北、登別、登別温泉、登別、上登別各連合町内会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、労働文化協会、技能協会、建設協
- 会、文化協会、体育協会、登別婦人団体連絡協議会、登別青年団体連絡協議会、登別こども会育成連絡協議会、登別商工会議所、登別青年会議所、経済同友会登別市昭和会、登別ライオンズクラブ、登別ロータリークラブ、陸上自衛隊札幌駐とん部隊、登別観光協会、登

別商工会議所青年部、登別地区労働組合協議会、登別漁業協同組合、登別温泉商店会、鈴蘭スタンプ会、鉄南商店会、中央通り商店会、銀座通り商店会、富士橋通り商店会、登別商店会、上登別商店会、飲食店連合会。

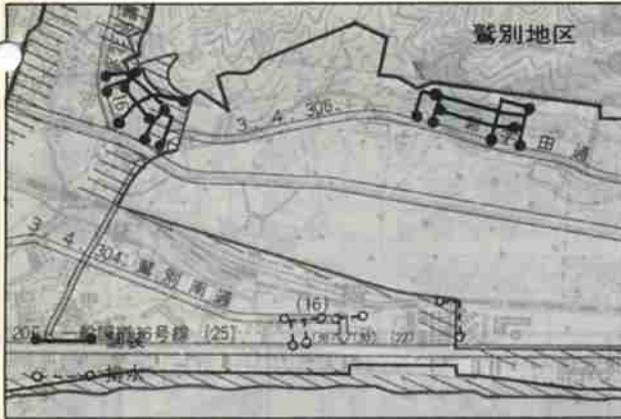
十分に楽しめる

市民まつりに

登別は、これから秋にかけて一年中で一番すこしやさい季節です。老いも若きも、男も女も連れだって楽しく参加できる年に一度の「市民まつり」です。

今年の手はじめで、いろいろ苦勞もあろうかと思いますが、みんなで相談し、反省を重ねて人々の心をつなぐ良い市民まつりにしたいものです。

全市民のこんなながいをこめて市民まつり実行委員会は、この日力強い賛同の拍手の中で実行へ向かって、第一歩をふみ出しました。市民まつりの実現によって、市民の心をつなぐ協同の輪を一層ひろめ、連帯感と人の和を深めることができると、市民による市政は一段と前進することになるとうと、期待感が高まっています。



スタートした

市道舗装・排水整備

工事期間中はご協力を

私たち登別市民の最も強い要望である道路舗装、排水整備については、今年度の市政の重点施策として取り組み、田村市長の任期中に市街化区域内道路の百パーセント完全舗装を実現するために、全力をあげて努力いたしております。

今年度は、市道舗装および市街地幹線排水路の工事を、三つの工期に分けて着手することにしており、第一期は八月下旬から、第二期工事は九月月上旬、続いて第三期と着手し、十二月中には竣工する予定となっております。

舗装事業は、総事業費四億円、二万六千三十四戸、排水整備については総事業費二億円をかけ、二万九千四十三戸を実現いたします。

工事に入る前には、市民のみならず、ご近所やご用地の確保や立会などでご協力を得なければなりませんし、工事期間中は交通止め、工事の騒音、振動などで大変ご迷惑をおかけいたしますが、しばらくの間のお許しをおねがいいたします。

なお、工事中お気付きの点がありましたら、市役所土木部土木課道路係までご連絡ください。

◎市街地幹線排水路の工事地域をお知らせします。

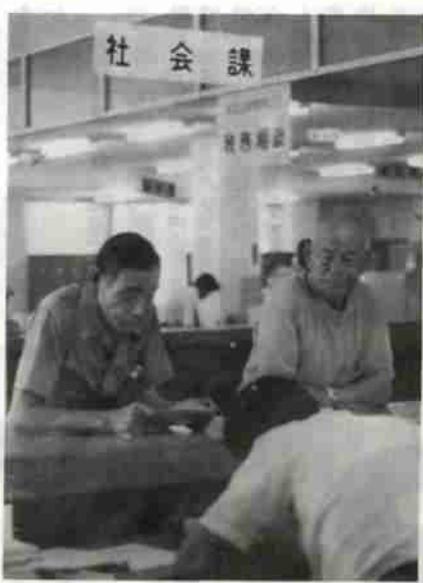
◎市道舗装の実施地区

- 美不二団地内、延長七百六十戸
- 幌別地区
 - あけほの団地内、七本、延長七百九十九戸
 - 新川町内、七本、延長千四百三十三戸
 - 富士町社宅内、千四百十七戸
- 登別地区
 - 花園町内ほか、八本、延長千八百七十二戸
- ◎市街地幹線排水路工事
 - 登別国道添い幹線排水路、一本、延長三百十七・三戸
 - 幌別東団地内幹線排水路、一本、延長百五十九戸
 - 鉄南鉄道添い西幹線排水路、一本、延長四十二・八戸(幌別町)
 - 西通り2号幹線排水路、一本、延長二百三十二・八戸(新川町)
 - 鷺別公住内幹線排水路、一本、延長百五十八・五戸
 - 鷺別公務員住宅幹線排水路、一本、延長三百九十四・七戸
 - 富士南幹線排水路、一本、延長九十二戸(富士町)

今年から敬老年金の支給対象年齢の大幅な引き下げを行ない、六十五歳から支給するようになりました。

そこで、対象者には受給申請書を送り、申請の受付を行なっていますので、必要事項を記入し、お早めに市役所社会課または各支所に提出してください。

この敬老年金は、他の年金を受給していても、所得制限などは関係ありません。



敬老年金 申請はお早めに

敬老年金は、他の年金を受給していても所得制限など関係なく支給いたします。

臨時市議会ひらく

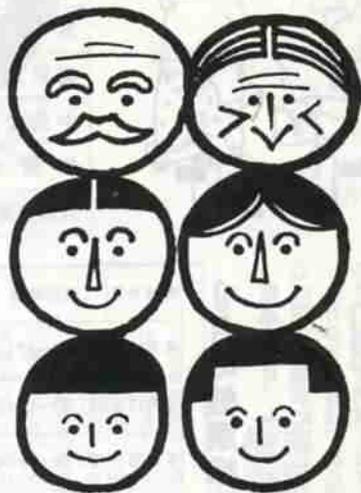
八月十九日午後一時から、第四回臨時市議会がひらかれました。

提出された案件は、公立学校共済組合融資住宅建設事業の一部変更についての報告および、市民まつりの中間報告。そして、上水道配水管布設に伴う水道会計補正予算と工事請負契約では、第一種公営住宅新築工事に着手するため、議会の議決を求めようというものです。配水管布設工事費の総額は七千二百五十万四千円、公営住宅の契約金額は一億二千万円です。

申請書が届いていない方は、印刷持参の上おこしください。
(社会課老人福祉係)

全国いつせいに実施される

昭和50年10月1日



国勢調査

きたる十月一日全国いつせいに国勢調査が実施されます。わが国の国勢調査は、大正九年に第一回目の調査が行なわれ、それ以来五年ごとに実施されてきましたが、今回は第十二回に当たります。

会の方で転換の年だといわれていますが、人口問題でも、いろいろの問題をかかえていますので、わが国の人口の実態を解明する新しく精確な統計の必要性は非常に高まっています。

(問) わが国の人口問題と国勢調査との関連を説明してください。

国勢調査は、統計法に基づく指定統計第一号で、国のもつとも大規模な、かつ基本的な人口調査です。その結果は、国や地方公共団体はもとより広く利用される大変重要な統計調査です。

答・昨年は、ルーマニアで世界人口会議が開催され、世界人口の爆発的増加について、真剣な討議が行なわれましたが、日本でも総人口の動向、人口の分布や構造の変化などいくつかが問題があります。まず第一に、狭い国土、乏しい資源、自給度の低い食糧などからみて、わが国の人口は、早期に静止人口を達成する必要があるといわれていますが、今後の人口動向を分析するためには、国勢調査による年齢別や男女別の統計が必要になります。

(問) 今回の国勢調査は、どのように行われる調査のねらいは、どこにありますか。

答・国勢調査は、わが国全体の人口の大きさだけでなく、都道府県や市町村ごとの人口の大きさや、男女別、年齢別、配偶関係別、産業別、職業別などの構成を明らかにして、国はもちろん、都道府県や市町村の地域社会に直結した行政に役立つ資料を得るために、行なわれるものです。

答・昨年は、ルーマニアで世界人口会議が開催され、世界人口の爆発的増加について、真剣な討議が行なわれましたが、日本でも総人口の動向、人口の分布や構造の変化などいくつかが問題があります。まず第一に、狭い国土、乏しい資源、自給度の低い食糧などからみて、わが国の人口は、早期に静止人口を達成する必要があるといわれていますが、今後の人口動向を分析するためには、国勢調査による年齢別や男女別の統計が必要になります。

昭和五十年は、政治、経済、社

たしかに最近の統計によると、人口の大都市集中は鈍化し、曲り角にきていると思われませんが、今回の調査によって、市町村あるい

「もつと小さい地域ごとに、人口の地域分布の現状が明らかになりこれを基礎に今後の政策の方向づけが行なわれることとなります。第三に、急速に進んでいる人口の老齢化の問題ですが、今回の調査により、老年人口数、その就業状態、家族構成などが明らかにになり、老齢年金、老人医療など老人福祉政策に必要な資料が提供されます。

第四に、昭和三十五年以降、めざましいいきおいで進行している核家族世帯の増加など社会問題が出ていますので、今回の調査では世帯統計をいっそう充実して、これらの需要に応えることにしています。

(問) 今回の国勢調査では、どのようなことを調べるのですか。

答・今回は、統計法第四条第二項のただし書きにもとづいて行われる簡易調査であるため、調査事項は、前回の二十三項目にくらべて十六項目と主なものに限定されています。つまり、毎回調査で調査してきた男女の別、出生の年月など人口の基本的属性のほかに、就業状態・産業・職業などの経済活動に関する事、世帯の種類、住宅の種類、居住室数、世帯員数など世帯や住宅に関する事などで、昭和四十年国勢調査の調査事項と全く同じです。

(問) 今回の国勢調査は、どのような仕組みによって行なわれますか。

答・ご承知のように、国勢調査の実施者は内閣府総務大臣ですが、実際の事務は総務府統計局が行ないます。

調査の機関は、都道府県―市町村―指導員―調査員という組織になります。実地の調査は内閣府総務大臣から任命された国勢調査員

があたります。指導員は、調査員十五人一人の割合で配置され、調査員の指導や調査書類の審査にあたります。(問) 調査員は実際どんな仕事をしますか。答・調査員は、調査日の一週間前つまり、九月二十四日から三十日までの間に、受持ち調査区内の各世帯に「調査票」の用紙と「国勢調査」についてのお願いを配布し調査票への記入を依頼します。その時に、調査区内の見取図である「調査区要図」と各世帯のり

税だより

国民年金は

このように変わる

国民年金は、年々、内容が改善されていますが、今年もさきごろの国会で法律の改正がおこなわれ、次のように充実した内容となりました。

福祉年金は、本年十月から表1のとおり、引き上げられます。拠出年金は、消費者物価の変動に応じて、本年九月から表2のように引き上げられます。

なお、表2のうち五年年金は、十月分から、さらに十五万六千円(月額一万三千円)に引き上げられます。

表1 福祉年金の増額(50年1月から)

種別	改正後
老齢福祉年金	144,000円(月額12,000円)
障害福祉年金	1級 216,000円(月額18,000円)
	2級 144,000円(月額12,000円)
母子福祉年金	187,200円(月額15,600円)
老齢特別給付金	108,000円(月額9,000円)

表2 拠出年金の増額(50年9月から)

年金種別	等級	改正後
老齢年金	10年	212,250円(月額17,687.5円)
	5年	135,840円(月額11,320円)
	一般(25年年金)	339,600円(月額28,300円)
障害年金	1級	424,500円(月額35,375円)
	2級	339,600円(月額28,300円)
母子、児童年金	等1人	339,600円(月額28,300円)
	等2人	349,200円(月額29,100円)
有期年金の最低保障額		144,000円(月額12,000円)

個人市民税のかかる人

個人市民税の納税義務者とは、市内に住所を有する個人(均等割額、所得割額の合算額)。または市内に事務所、事業所、家庭数(別宅、別荘など)を有する個人で市内に住所を有しない人(均等割

ストである「世帯名簿」も同時に作成します。次に、十月一日から五日までの間に、調査員はもう一度各世帯を訪問し、記入済みの調査票をその場で検査してから取り集めます。(問) 今回の調査で最も力を入れているのはどの点でしょうか。答・わが国の国勢調査は、対象の把握や内容の精度において、国際的にも非常に高く評価されてきました。今回も、ぜひみなさまのご協力により、この伝統をまもって

いきたいと思っておりますが、留守勝ちの世帯、仕事などの都合で一定の住居のない人、名前のついていない乳児などは、ともすると調査もれとなるおそれがありますので、今回の調査では、このような点に注意し、特に調査もれを防ぐことに重点をおいています。最後に、国勢調査の調査票は、統計を作成する目的以外には、絶対に使用しませんので、安心してありのまま記入されますようお願いいたします。

額)が納税義務者となります。なお、市内に住所を有するかどうかは、その年の一月一日現在の状況で判断されます。例えば、昭和四十九年十月に死亡した人には、昭和五十年の市民税は課税されません。また、昭和五十年三月に転勤となり、登別市から札幌市に住所を移した人は、昭和五十年の市民税は登別市より課税されます。住所の認定については、原則として、住民基本台帳に記録されている所に住所を有するものとされますが、住民基本台帳に記録されていない場合でも現実に住んでいるときには、課税されます。なお、次のような人には、市民税は課税されません。◎前年中に所得がなかった人 ◎生活保護法によって生活扶助を受けている人 ◎障害者、未成年者、老年者、寡婦の方で前年中の所得が六十万円以下であった人 (市内に住所を有し生計を一にしている場合、夫が均等割を納税しているときは、妻に一定以上の所得があれば所得割はかかりませんが均等割は、かかりません) 九月は個人市民税、国民健康保険の第二期の納期となっています。お忘れなく納入してください。

おしらせ

9月上旬の予防接種

9月上旬の予防接種を次の日程により行ないますが、次の点に注意して受けるようにしてください。
○ 母子手帳は必ず持参してください。
※ 三種混合は当分の間、中止しておりますのでご承知おき願います。

実施場所	時間	種痘	ジフテリア	種痘の診
ひまわり園	1:00~1:30	9月10日		9月17日
鷺別支所	2:00~2:30	9月10日		9月17日
富浜児童館	1:00~1:30	9月9日		9月16日
中央公民館	1:00~1:30	9月11日	9月4日	9月18日
登別支所	1:00~1:30	9月10日		9月17日
登別温泉支所	2:00~2:30	9月9日		9月16日



赤ちゃん検診



市では、医師・保健婦・栄養士による赤ちゃん検診を、次の日程で行ないますので、母子手帳を必ず持参してください。
○ 対象児
昭和五十年五月生まれ及び六月生まれの乳児
ただし、鷺別地区の乳児は六月生まれのみです。
○ 内容
計測・診察・栄養指導・育児指導
○ 用意するもの
バスタオル、変えオムツ、通知ハガキ、母子手帳

実施月日	受付時間	実施場所	対象地区
9月17日	12:00~12:30	鷺別支所	鷺別支所管内
9月19日	12:30~13:00	登別支所	登別温泉支所管内
9月26日	12:30~13:00	中央公民館	上記以外の地区

9月の健康相談日

毎週木曜日、みなさんの身体や心に関する相談に応じています。九月の相談日は、次の通りです。ぜひご利用ください。
実施日及び受付時間
九月十一日、十八日、二十五日

午前の部 十時~十時三十分
午後の部 一時~一時三十分
内容
午前：成人病相談（生活、食事指導）、妊婦相談、家族計画相談
午後：赤ちゃん相談（六カ月児・九カ月児）、その他相談のある乳幼児の育児相談
場所
中央公民館和室（市役所うらら）

股関節脱臼の検査を行ないます

市では、室蘭保健所との協力のもとに、毎年乳児の股関節脱臼検査を行なっていますが、今年も次の日程により検査を行ないますので、対象乳児はもれなく受診してください。
○ 対象乳児
生後三カ月以上二年未満の乳児
○ 受診料
一人：六百円
○ 実施日及び場所
九月十一日、十月九日、十二月十八日、二月十九日、いずれも中央公民館で行ないます。
○ 受付時間及び定員
午前：十時~十一時
午後：一時~二時
定員は午前・午後とも二十五名です。
※ 母子手帳をご持参ください。

精神薄弱者の判定相談を行ないます

市福祉事務所では、精神薄弱者の医学的判定、心理、職能、社会的判定により、医療費の助成、施設入所、就職、生活指導、障害年金受給等の相談を次の日程により行ないます。
この判定により、重度精神薄弱者を介護する家族に対し、介護手当の支給及び交通費の助成、各種の援護措置を受けるための療育手帳の交付等が行なわれていますので、希望者は福祉事務所へ申し込みください。
○ 期日
九月二十七日（土）
○ 場所
中央公民館
○ 申し込み期日
九月二十六日まで
※ 当日は保護者の付き添いを要します。

リフォーム教室をひらきます

すでに使いすて、着すての時代は終わりました。そこで、タンスの奥などにしまっている衣類を再利用して、子供さんに喜ばれる洋服につくりかえたり、また、いまの流行に合う洋服につくりかえたりする楽しい「リフォーム教室」を次のとおり行ないます。
特に、片倉町、桜木町、新川町地区を対象としておりますので、早目に申し込みください。
○ 期日
九月九日、十一日、十六日、十八日、二十三日、二十五日、三十日、十月二日、七日、九日（計十回、毎週火、木曜日）
○ 時間
午前十時~十二時
○ 講師
吹越 愛子
○ 定員
二十五名（申し込み順）
○ 受講料
無料
○ 用意するもの
リフォームをしようとする衣類

飲酒運転は死を招く

飲酒運転は、死亡、重大事故に直結しています。飲んだら乗るな、乗るなら飲むな。



小売販売士（二級）の講習会を受講しよう

小売商検定試験のために、販売士養成講習会が各地の商工会議所等で開催されています。登別商工会議所でも、十月五日に検定試験を実施いたしますが、

文化短信

登別音楽愛好会が誕生



登別音楽愛好会が、七月三十日に誕生しました。市役所の音楽ファンが中心になって、クラシック、ジャズ、ポピュラーなど、月一回の定例レコードコンサートを開いて、気楽に集まり音楽を聞こうという会です。
一般の音楽ファンの方にも明年四月を目途に加入していただくことと準備をすすめていますので、入会ご希望の方は、大塚（市役所観光商工課）または山木（同税務課）までご連絡ください。

会員の方には、定例レコードコンサートの都度ご案内いたしますので、多数の参加をお待ちしています。なお、九月定例会は、二十九日午後六時から八時まで中央公民館で開きますので、お気軽においでください。

と洋裁道具一式
○ 申し込み方法
九月八日までに、市教育委員会社会教育課（電話五局二一一一内線三五二）へ申し込みください。
○ 会場
吹越宅（片倉町三丁目二十八番地二）です。